

学級活動で活用する

本場面におけるポイント

- 学級における人間関係を見直す
望ましい人間関係について考えるための資料などとして生かす。
- みんなでやってみたいことを考える
話し合い活動の前に、自分のアイデアをまとめる場として生かす。
- 学級生活向上への意欲を高める
子どもが自分の学級の生活を一層充実させるための手掛かりとして生かす。



※以下では、学級活動(1)学級活動(2)についての指導事例を3つ取り上げている。

●友達のよさを感じ、望ましい人間関係を広げるために生かした事例(第2学年)

- 1 題材 友達パワーで元気よく〔学級活動(2)ウ 望ましい人間関係の育成〕
- 2 ねらい 学級の友達のだれとでも遊び、仲よくしようとする意欲を高める。
- 3 「心のノート」を生かす工夫

◇活用するページ: 1・2年用P.44～47「友だちといっしょ」

◇学習での生かし方: P.46～47「ともだちパワーをあつめよう」のページをファイルに綴じておき、子どもたちには、いつでも書いてよいことを話しておく。日頃から、朝の会・帰りの会などで投げ掛けておくようにする。

4 展開の概要

- 1 ① P.46～47の友達からもらった「はげましのことば」や「うれしかったことば」を紹介し合う。
- ② 思い付いた他の言葉を書き加えて、友達との出来事をさらに思い起こす。
- 2 どんな言葉が特に元気が出るのかについて出し合う。
- 3 それぞれ、どんな元気が出るのかを考えて、「パワー」の名前をつける。
- 4 自分は、友達が「どんなとき」に、「どんな言葉」をかけたか、めあてを立てる。

5 「心のノート」活用の実際

P.46～47は、友達からの言葉を書く欄になっており、うれしい言葉をもったとき、自由に「心のノート」ファイルを開いて書き込むことができる。子どもたちの様子を見ながら、言葉が集まってきたところで、本時の授業に生かすようにすると効果的である。

また、それぞれに「パワー」の名称を工夫してつけることで、友達関係をより大事にしようとする気持ちが高められると考えた。



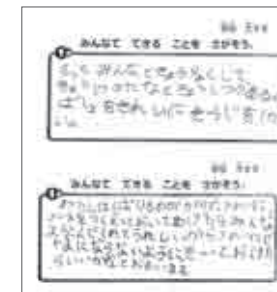
子どもが集めた「ともだちパワー」

楽しい学級生活づくり、やさしい仲間づくりの手掛かりとして

●話し合い活動の入門期に議題を決めるための手掛かりとして生かした事例(第1学年)

- 1 議題 みんなで話し合おう〔学級活動(1)〕※事前指導
- 2 ねらい 話し合い活動の入門期として、「みんなでやってみたいこと」を見つけて、学級の議題を決めることができるようにする。
- 3 「心のノート」を生かす工夫
◇活用するページ: 1・2年用P.86～87「お世話になってます」
◇学習での生かし方: 朝の会などで、「みんなでやってみたいこと」を書いておき、自分の意見として発表するときに生かす。
- 4 「心のノート」を生かした授業の概要

- 1 自分が書いた「みんなでやってみたいこと」を発表し合う。
- 2 分類する。「遊び」「きまり」「係」など
- 3 多かった内容や、すぐに話し合った方がよいものを見つける。
- 4 学級会で話し合う議題を決める。



議題箱と用紙を用意し、いつでも書けるようにしておく、次回からは事前に司会グループと担任でこの活動を行い、学級会を行うことができる。

●学級生活向上への動機付けや意欲付けの題材として生かした事例(第4学年)

- 1 題材 ますます楽しい学級に〔学級活動(2)ア 希望や目標をもって生きる態度の形成〕
- 2 ねらい 学級生活への希望や願いをもち、学級生活を一層楽しいものにできるようにする。
- 3 「心のノート」を生かす工夫
◇活用するページ: 3・4年用P.84～87「学校はどんなところ?」
◇学習での生かし方: 3・4年用P.84～85を用いて自分たちの学級生活のよさを膨らませ、さらに、P.87を用いて学級における一人一人の役割意識などを高める。
- 4 「心のノート」を生かした授業の概要

- 1 自分たちの学級にはどんなよいところがあるか。
(P.84～85の記述を自由に生かして話し合う)
- 2 もっと楽しい学級にするにはどうすればよいだろう。
(学級における集団生活の改善点などにも目を向ける)
- 3 学級のために自分ができることを見つけてみよう。
(P.87の4つの欄にめあてを決めて書く)



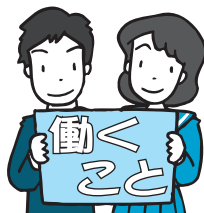
より楽しい学級にするためにこんなことができる

子どもたちが書いたこのページを、しばらく教室に掲示しておく、毎日帰りの会で振り返ることができる。また、自己評価や他者評価ができることで意識化につながり、自分や友達のよさや伸びを知ることができ、さらには学級の質的向上にもつながる。

学級活動で活用する

本場面におけるポイント

- 自己理解を深める
自分に自信の持てない子どもが多い中で、自己を見つめ欠点や短所も含めて自分をまるごと好きになることで自尊感情を育むことができる。
- 望ましい勤労観・職業観の育成に生かす
望ましい勤労観・職業観の育成は、進路指導における基本的な内容であり、「心のノート」にはこれらの学習に生かすことのできるページが多くある。
- 主体的な進路学習につなぐ
「心のノート」は、子ども自身による主体的な進路学習に生かせる内容・構成になっている。自己の生き方を見つめ、自己の目標を定めて努力することに役立つ。



※以下では、学級活動(3)についての指導事例を3つ取り上げている。

●自己理解を深める場面での活用事例

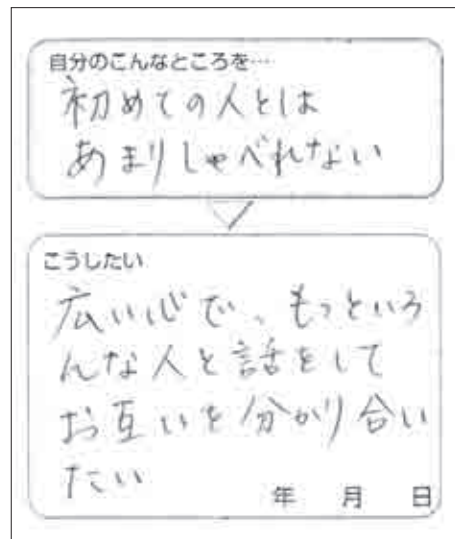
- 1 題材名 自分を知ろう (第1学年)
- 2 ねらい
自分の個性・能力・適性を知ることの必要性を伝えることから自尊感情を育み、個性等の伸長を図る。
- 3 活動と「心のノート」活用の実際



中学校用P.34~35

中学校用P.34~35「自分をまるごと好きになる」を読む。

- 自分を伝えよう。
(時間を計って、ゲーム的要素を取り入れる)
①自分にできることをできるだけたくさん相手に伝える。
②自分の好きなものをできるだけたくさん相手に伝える。
③自分の性格、特技、長所や短所を相手に伝える。
- 相手の特徴やよさを伝えよう。
相手の特徴や長所をワークシートに書いて交換する。
中学校用P. 32~33「あなたらしさがあなたの個性」を読み、相手が渡してくれたシートの内容を参考に「でこぼこの自分だけれど…」を記入する。



中学校用P.37

●職業の意義について考える活動での活用事例 (第2学年)

- 1 題材名 職業の意義
- 2 ねらい
働くことの意義を理解させ、望ましい勤労観・職業観の育成を図る。

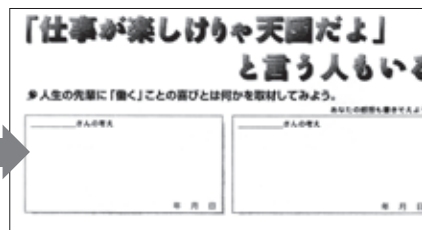
自己理解を深め、進路について考える場面での活用

3 活動と「心のノート」活用の実際

- 「人は何のために働くの?」について考えよう。
①自分の意見を短冊に書き、黒板に貼る。
②KJ法を用いて、黒板の短冊を整理する。
- みんなの考えの共通点について話し合おう。
①整理した短冊の共通点は何かを明確にする。
②提示された職業の三要素について、説明を聞く。
中学校用P.108~109「考えよう「働く」ということ」を読み、理解を深める。
- 感想や意見を発表しよう。
職場体験学習等を通して自分が感じたこと、考えたことや働くことの意義について意見交換する。
中学校用P.110~111「「働く」ということには社会を支え、世の中に貢献する力がある。」を見て、特にP.111の書き込み欄などに家庭や地域での取材をもとに記入する。

「心のノート」の内容を補助資料として扱う

中学校用P.109「働くことがもっている大きな意義」には、進路学習で扱われる「職業の三要素」としての経済性、個人性、社会性に関する内容が記述されている。「職業の三要素」についてよりわかりやすく理解させるための補助資料として用いることができる。



中学校用P.111

●夢や目標の実現について考える場面での活用事例 (第3学年)

- 1 題材名 将来設計
- 2 ねらい
夢の実現までに出会う様々な試練や問題を想定させながら、問題解決のための方法について考えるを通して、自己実現への意欲を喚起する。
- 3 活動と「心のノート」活用の実際

- 夢や目標をもつことは、なぜ大切なのだろう。
夢や目標をもつことについて意見交換する
中学校用P.30~31「自分の人生は自分の手で切り拓こう」を読み、生きていく上で夢や目標をもつことが大切であることに気付く。P.32を記入する。
- キャリアをデザインしてみよう。
人生の目標として考えられることを提示し合う。
中学校用P.23「人生の目標について」を参考資料として活用する。
マイ・キャリアデザインのワークシート(「~年後のわたし」)を記入する。

- 夢の実現までをシミュレーションしてみよう。
①目標達成までにどんなことが予想されるか発表する。
中学校用P.24~25「努力することってすばらしい」を参考に問題を予想する。
②そのとき、どんな心境になるか。
●「目標達成必勝法」ワークシートを完成させよう。



中学校用P.32